

野馬追ダイアログ

—Fukushima Samurai
が生み出す対話と未来—

Nomaoi Dialogue – Locals, inspired by Fukushima Samurai, engage in a round-table talk about the future –



写真展
Exhibition

2016 2.3 (水)～2.12 (金)

観覧時間10:00～18:00《入場無料》
2月9日(火)は休館(最終日は15:00まで)

Fukushima Samurai 撮影／高杉記子

会場：南相馬市民文化会館 ゆめはっと ギャラリー

- 主催：はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会
- 後援：南相馬市／相馬野馬追執行委員会／相馬野馬追保存会
- 協力：公益財団法人南相馬市文化振興事業団

トーク
セッション
Talk session

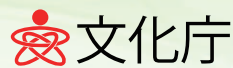
2016 2.11 (木/祝)

13:30～15:30《参加無料／申込不要》

小高ダイアログ
～野馬追、野馬懸を未来へつなぐ～



はま▲なか▲あいづ
文化連携プロジェクト



文化庁



数百年の歴史を持つと伝えられる祭礼・相馬野馬追、野馬懸は、この地に生きる人々にとってどのような存在であるのでしょうか。写真家・高杉記子は、2011年以降、相馬野馬追に関わる人々取材・撮影し、時間をとることで、土地に根差した祭礼が、いかに人々の郷土の誇りを育み、失うことのできないアイデンティティになっていったのかを尋ねてきました。

高杉の作品・Fukushima Samuraiの展示と会場でのトークセッションが、相馬野馬追、野馬懸の過去・現在・未来を語る“対話＝ダイアログ”の場となり、震災・原発事故後の野馬追体験も振り返りながら、相双地域の魅力やつながりを確かめることができると思います。ぜひご来場ください。



トークセッション

2016 2.11 (木/祝)
13:30~15:30

《参加無料／申込不要》

第1部 作品トーク Fukushima Samurai 高杉記子 (写真家)

第2部 座談会 小高ダイアログ
～野馬追、野馬懸を未来へつなぐ～

《出演》※五十音順敬称略

- 阿部裕真 (御小人頭、小高郷騎馬武者)
- 佐藤邦夫 (小高郷騎馬会長)
- 高島絹代 (前・小高商工会女性部長)
- 南原芳正 (小高神社氏子総代)
- 本田信夫 (前・三社五郷騎馬会長、土碑会会長)
- 山澤 征 (小高区行政区長会長、相馬野馬追小高区執行委員長)

モデレーター

- 二上文彦 (南相馬市博物館学芸員)
- 高杉記子 (写真家)



会場: 南相馬市民文化会館ゆめはっと
〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町2-28-1
tel: 0244-25-2761, fax: 0244-25-2764
* 毎週火曜日、祝日の翌日は休業

高杉記子 Noriko Takasugi / Photographer

東京在住。ロンドン芸術大学 London College of Communication, MA Photojournalism & Documentary Photography卒業。雑誌編集者、広報の仕事を経て、写真家として活動中。イギリス全国版新聞 Independentや Telegraphほか、WIRED.com、TIME.com、など作品掲載多数。主な展示/賞に、Critical Mass 2013 Photolucida スカラシップ&ファイナリスト、コニカミノルタ フォト・プレミオ2014入賞(東京)、Asian Woman Photographers Showcase 2014 (マレーシア)、Taylor Wessing Photographic Portrait Prize 2015 ファイナリスト (ロンドン/ナショナル・ポートレート・ギャラリー)、Photoquoi ビエンナーレ 2015 (パリ/ケ・ブランリ美術館) など。

「2011年、震災のたつた2、3ヶ月後、多くの人命や馬を失った厳しい状況下で、大多数の侍たちは相馬野馬追の決行に合意し、その1000年以上も続く歴史を未来へつないだ。なぜ生きるのか、どのように生きるのか、なぜその選択肢を選んだのか。それは決して彼らだけに起こった特別なことではなかった。私の生活は、私の日々の中で何が大切かを選んできたものの累積であり、紡がれてきたものだ。侍たちと時間をともにする中で、いつのまにか、そこに生きる彼らに自分を重ねながら写真を撮っていた。」

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトとは…

福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま (福島県の太平洋側)、なか (東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいづ (新潟県に隣接する福島県の山間部) で展開する活動を通して、福島文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2015年度は、8つのプロジェクトを実施。詳しくはこちら→hamanakaaiju.jp

お問合せ

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会事務局 〒965-0807 福島県会津若松市城東町1-25 (福島県立博物館内)
tel: 0242-28-6067 (事務局直通) もしくは 0242-28-6000 (福島県立博物館代表) fax: 0242-28-5986 (福島県立博物館内) * 毎週月曜日、祝日の翌日は休業